

平成30年の無線運用記

JA1WOB

齋藤 章

平成30年もあと1ヶ月余りで終わります。そして平成も終わります。さて、今年1年の無線運用を振り返ってみます。例年通りお正月のQSOパーティーで始まり、11月の泉州サバイバルコンテストが終了した、11月20日時点で、951回のQSOと879局とのQSOでした。今年は、何時もの移動運用とコンテストの他に、デジタルモードの新規運用が、加わったのが特徴です。1月から準備を始めて、下表の様に2月頃からJT65、FT8、RTTYのモードでQRV出来る様になりました。

月	電波形式						総計
	AM	FM	FT8	JT65	RTTY	SSB	
1月	1	21				30	52
2月		6	45	1		6	58
3月			99	7	1	18	125
4月		19	59			61	139
5月	6		99		1	96	202
6月		5	66		1	8	80
7月		4	18			18	40
8月			4			4	8
9月			15				15
10月		8	14			3	25
11月			5			202	207
総計	7	63	424	8	3	446	951

今年は、SSBが中心の運用から、FT-8の運用が半数近くを占めています。JT-65やRTTYでの新運用もありましたが、相手局が少ないので、FT-8が中心になりました。また、7月の240誌で紹介した様に、デジタルモードの運用を始める事で、DXQSOが可能となりました。

月	周波数										総計
	14	18	21	24	28	29	50	144	430	1200	
1月							31		21		52
2月	20	14	3				14	1	6		58
3月	39	42	3	1			39		1		125
4月	33	16	7	1			58	3	21		139
5月	16	12		30			135	9			202
6月	10	5	10	11	2	5	37				80
7月	2	1	1	5			12	15		4	40
8月				3			5				8
9月		10	5								15
10月	3	11					2	1	8		25
11月	4	1					22	180			207
総計	127	112	29	51	2	5	355	209	57	4	951

昨年までは、50MHz以上の周波数での運用が中心でしたが、FT-8を初めてからは、HFのハイバンド、14M, 18M, 21M, 24Mなどの運用が多くなり、これらがDX局の中心となり、53カントリーとのQSOが出来ました。

50M全体のQSOが355局ある中で、FT-8のQSOは129局ありました。

アジア、オセアニア、ロシアなどの近距離のDX局と、GWと思われる2エリア3エリアの局とのQSOが出来ました。

HFのANTは、ベランダに取付けた1/4λのモービルホイップと、50Mはアンテナの1/2λ Z e e pを使用しています。

また、時々、HFの1/2変型VDPでQRVする事もあります。

写真は、ベランダに仮設した18M&21MのギボシDPです。

50MのZ e e pはロッドアンテナを畳んだ状態です



移動運用関係は、4月の日の出町「梅ノ木峠」、5月の飯能市「つつじ山」と電波伝搬実験で横瀬町の「丸山」、11月の泉州サバイバルコンテスト関係で、檜原村「浅間尾根」や瑞穂町「六道山」や所沢市「葡萄峠」の6箇所でした。

コンテスト関係は、1月のQSOパーティー、5月の東京コンテストや7月の、6m&ダウンコンテストは、声掛け程度でした。

11月の144mhz泉州サバイバルコンテストは少し気合を入れて11日間の全日参加して、昨年同様200局以上を目指しましたが、180局でした。

今年も残り1ヶ月あまり、11月23日の東京UHFコンテストや25日多摩川や12月23日の50MHz AMコンテストもあります。

来年も、移動運用にコンテストに新ジャンルにチャレンジして、楽しいハムライフにしたいと思います。

平成30年11月23日、記